

令和5年度 調布市立国領小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
◎よく考える子・・・〔自ら考え表現する子供〕「創造性」【問題解決能力】	
○仲良くする子・・・〔自他を大切にしている子供〕「思いやり」【人間関係形成能力】	
○元気な子・・・〔自ら心と体と鍛える子供〕「挑戦」【自己指導能力】	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
認め合い, 高め合い, 笑顔あふれる国領小学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	学習指導要領が目指す「主体的で対話的で深い学び」の中で、認め合いの土壌を育み、さらに学ぼうとする意欲を高めていく。自他を尊重し、お互いを認め合う関係から、思いやりの心が育ち、自然と笑顔がうまれてくる。児童、教職員、保護者、地域、全てが学び育ち合う、笑顔あふれる学校を目指す。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	言葉がもつよさを認識して言語感覚を養い、叙述を基に自分の考えをもちすすんで伝え合う力	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の特性を理解し、適切に使うことができる知識・技能を身に付けさせる。 ・叙述を基にして自分の考えを表現し、交流を通して考えを広げ深めていく学習活動を系統的に設定する。 ・語彙を豊かにし、想像力を育むために読書活動を充実させ、本に親しませる。
社会	学んだことを暮らしや社会とつなげ、活用する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を使って調べたり、学んだことを表現したりする活動を計画的に設定する。 ・課題の解決に向けて、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係といった視点をもたせられるよう、資料を精選する。
算数	事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、発展的に考える力	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを取り入れた協働学習や対話を通して、より良い解決法を考えさせる。 ・日常生活場面と結び付けて考えさせるなどして、量感を養う。 ・東京ベーシックドリルを活用して、反復練習を行う。
理科	自己の経験や体験、自然現象から課題を見出し、それらを解決するための論理的な考え方や比較検討をする力。	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を多角的な視点から捉えられるように単元の導入や場面の設定を工夫する。 ・結論や考察までの論理的な思考の流れや、比較・条件制御などの取組み方を児童が習得できるように授業を組み立てていく。
生活	身近な人や社会、自然などを自分との関わりで捉え、集団や社会の一員として適切な行動を考え、実践する力。	<ul style="list-style-type: none"> ・町探検、お店屋さんなど、身近な場所や人々のことを知り、紹介したいところを選んでまとめる活動や、学校探検などの異学年で交流する活動を充実させる。 ・観察したことや体験したことを、タブレット端末を活用しながら1年間を通して生活科カードにまとめる。また、友達同士で見合い、交流することで振り返りができるようにする。
音楽	互いを認め合いながら音楽活動を楽しみ、生活や社会の中の音楽と豊かに関わる力	<ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏によさや楽しさを見出せるような教材提示の仕方を工夫する。 ・グループやペアの学習形態を多用し、友達と協働しながら主体的に楽しく音楽活動をさせる。
図画工作	豊かに発想や構想し、自分の見方や感じ方を広げ、すすんで表現したり鑑賞したりする力	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味や関心を高め、既習の経験を活かして、より良い工夫ができるような効果的な教材提示をする。 ・学習カードを活用することで、完成までのイメージをもたせ、見通しをもって学ぶことができるようにする。 ・鑑賞を通して、友達の作品の良さを味わう機会をもち、さらに自分の作品の表現に生かせるようにする。
家庭	衣食住などに関する実践的、体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する力	<ul style="list-style-type: none"> ・実習や製作の中で細かい動きの確認やつまずいた時に写真や動画などICTを活用して自分で確かめつつ学習できるようにする。十分習得されていない技術については間近で手本を見せるなど個別に指導する。 ・友達同士で教え合う活動を授業の中に取り入れる。 ・学習した内容は家庭でも実践する機会を設ける。また、実践結果を撮影・記録し、発表する際にICTを活用する。

<p>体育</p>	<p>自己の課題を見出し、課題解決に向けて思考・判断し、他者と考えを伝え合う力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用することで、自己の課題の明確化、課題解決の方法、振り返り、次時の課題設定という PDCA サイクルを作る。 ・タブレット端末を活用して、動きのアドバイスをしたり、チームで作戦を立てたりする活動を設定する。また、お手本動画の視聴や学習カードのデジタル化を行い、自分の学習の積み重ねを記録できるようにしていく。
<p>外国語</p>	<p>外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを主体的に伝え合う力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AETと連携を図り、語彙や表現などを繰り返し学習し、基礎的な表現を身に付けさせる。 ・ICT端末を活用することで、話したり聞いたりする意欲を高め、自分の考えを伝えたり、友達の考えを理解したりする。 ・映像資料などを通して、外国語の背景にある文化に対する理解を深める。
<p>道徳科</p>	<p>主体的に対話することを通し、自己のよりよい生き方についての考えを深める力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 端末を活用し、一人一人の子供の価値観や考えなどを共有する。 ・子供の事態に合わせた指導方法を工夫する。(役割演技・動作化・表現活動等) ・見方や考え方を広げたり深めたりするために、友達との対話を充実させる。 ・児童が自らを振り返られるように、個人で考える場や方法を工夫していく。
<p>外国語活動</p>	<p>外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AETやICT端末を活用し、歌や絵本、ゲームなどを通して外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。 ・ICT端末を活用し、友達と対話することに意欲をもたせ、身近な事柄について、外国語で表現することを楽しむ。 ・デジタル教材を活用し、言語や文化に対して興味をもつ。